

平成 25 年 1 月度第 1 回わが街つくる会定例会議事録（通算 145 回）

日時：‘13-1-10（木）19：30～21：10

場所：平野市民センター会議室

出席者：橋本、雨宮、堀井、森川、岡本、竹内、杉中、杉本、川上、倉橋、
戸所、竹吉、乾 以上 13 名

議事内容：（司会：竹内）

橋本会長挨拶：今年も平野学区の活性化と発展に向けて自由闊達な議論を行ない、一つずつ成果に結びつけて行きたい。皆さんの全面的な協力をお願いします。

1. 今日の一言（竹内）

私の住む鶴の里地区は 2 自治会（鶴の里、鶴の里東）があり、230 世帯の規模である。最大の課題は高齢化で、70 才以上高齢者は 200 名を数え、限界集落の様相さえある。空き地、空家も増え一人住まいも目に付く。保守的思考も強く自治連への貢献度は低い。こうした中、如何に地域の活性化を図るべきか頭を悩ませているところである。

2. 膳所駅周辺整備推進事業に対する地元要望について

自由討議で以下の議論を行った。次回定例会では大津市との意見交換と JR への説明会の実施要望をして行くこととした。

1) 観光案内のブース設置要望について

本要望は商店街より出されたものであるが、具体的な構想の提示がない。商店街として早急に見解を出して貰うこととした。JR にはショッピングセンター設置構想もあり、話合いの余地の可能性を探る。

2) 花壇の扱いについて

花壇に愛着はあるが駅前広場の有効活用の在り方次第では拘るものではない。維持と撤去の両ケースで、通学路の確保や車の流れ等の観点で得失を比較した設計図を示すよう大津市に要望してみる。

3) その他要望（岡本私案を基にした要望内容について）

全体イメージ⇒歴史観のあるレトロ調デザイン

駅前広場⇒・ときめき坂の通行安全（電柱地中化、歩道カラー化）

- ・京阪膳所駅との連絡屋根の設置
- ・公衆便所、災害時備蓄倉庫の設置
- ・イベント広場の確保
- ・駐輪場の設置、観光案内所の設置

橋上駅舎⇒・上下降エスカレーターを設置

- ・物産販売所、託児所の設置
- ・多目的スペースの設置
- ・待合コーナーの設置
- ・授乳コーナーの設置

3. 「平野を知る」プロジェクトについて

昨年11月の定例会にて「平野を知る」をテーマにした活動を推進するため、森川氏をチーフとするプロジェクトチーム（メンバー：森川、堀井、岡本、杉中、乾、戸所、竹吉）を発足させている。

本チームの目的は独自アンケートの実施と調査分析である。この検討に当たり、先ず平野の実態認識に参考となると思われる学区社協がH24年1月に実施したアンケート結果資料の勉強会を行ってみることにした。勉強会参加対象は未発足ではあるが「仮称平野街づくり推進委員会」メンバー（*）とする。開催日程等は確定後連絡する。

（*）自治連、社協、平野小PTA、膳所駅前商店街、平野商店街、わが街つくる会、各種団体等

（注）H24年度大津市協働提案制度に応募し落選となったが、引き続き提案内容に沿った活動を続け実績を積み重ねた上で次回のチャンスを伺うことを昨年9月の定例会で確認している。今回、H25年度に応募チャレンジの意見が出たが、これに関しては今後の活動の親展状況をみて議論することとした。

4. 次回定例会の開催について

日時：1月24日（木）19：30～

場所：平野市民センター会議室

以上（乾）

（追記）

平成24年12月度第2回定例会（通算144回）を12月20日（木）、使用禁止直前の馬場元町自治会館にて実施した。併せて恒例の忘年会を実施した。出席は橋本、雨宮、奥村、堀井、中井、杉中、岡本、戸所、竹吉、乾の10名。席上、12月29日頃に琵琶湖周辺でM7.8地震発生の可能性を警告する地震予報家の話しが紹介されたが、何事もなく平成25年の新年は明けた。